

連載エッセイ

連載エッセイ 私の秋田弁ライフ(5)

私の秋田弁ライフ
(5)

地主 勝己 (昭和37年土木科卒)

東京秋工会 副会長

昭和52年に小田急柿生第一区画造成工事に従事することに成りました。現在の小田急多摩線五月台駅周辺の宅地造成工事です。

そのころの柿生の山は故郷秋田の裏山のような里山で、現場に乗り込んだ時は山菜の季節でした。「ワラビ」「ばっけ」「タラの芽」「ヒロコ」がおがってで、伐採しながら同じ所長に付いてきた秋田の本荘の連中が仕事半分、山菜採り半分で作業していました。

飯場(作業員宿舎)では「ワラビ」は灰を入れて煮立て明日の朝「ワラビ叩き」とおひたしにするべとなり、「ばっけ」はさっと茹でて味噌とミリンを入れて軽く炒め、「タラの芽」は天ぷらで、「ヒロコ」はそのまま水で洗って味噌付けて酒の肴となり飯場の食堂は宴会場になります。翌朝は世話役のEさんが「ワラビ叩き」を作ります。水洗いした「ワラビ」を細かく切って味噌を入れ包丁で叩き、その後すり鉢で搗ります(これ地主流)。山椒の葉を入れるともっと美味しいのですが、まだ出ていませんでした。「ワラビ」のおひたしと「ぼだつこ」、秋田から送ってもらった「がっこ」、なんと書いてもメインディッシュは「ワラビ叩き」。熱いまんまさ、じっぱりかけで、そのうめごとやっぱり秋田県人でえがったなと全員恵比寿顔でお代わりは2杯までと制限付きとなりました。

「このほいどけし、おめだば3杯めだべ」「なもだ3杯めだ」「まんず、ばしごぎで、だじゃくけしだもの」世話役のEさんが「え、わがった、おめどさ、わつぱが仕事えつべやるがらもう一杯け」とな

なり一件落着となりました。

宅地造成工事ですので道路には、ガス、水道、下水等のインフラが入ります。川崎市の検査は厳しく下水本管に水の浸透が有っては不合格となります。そのため検査当日の夜中の3時ころより私が考えた方法でカモフラージュする作業をするのです。エアコンプレッサーにホースを繋ぎその先端にセメントと石灰を混ぜたものを詰めた土嚢袋を引っ張りながら管の中を化粧していくのです。こよう作業は気心の知れた本荘の連中に限ります。

「先におめ潜れ」「なして、おめの方がちちえがらおめだべ」「はんがくせ仕事だばいずも、おれだものなだもだ」とごしやぎながら、なじぎを下にびつきが車に轢かれような格好で下水本管に入っていくのです。コンプレッサー、合図、中に2人、出口と5人で私が最後にチェックしながら作業するのです。7時頃作業が終わり交代で作業をするものですから全員、目、鼻、口と全身真っ白で「これだば雪女でなく雪男だな」と大笑いし作戦通り無事検査合格したのです。

この現場は私の家から車で30分程の所に有り車通勤していました。夏のある朝道路の脇に大きな布袋が落ちていました。なんだか知らないが邪魔になると思いトランクに入れ事務所の階段の下に置きました。次の日その道路に立て札が有り「袋を拾った方はここにご連絡して下さい」と有りました。急いで袋を開けて見ると「イトーヨーカ堂」の伝票がいっぱい入っていました。電話すると「ありがとうございます、後ほどお伺いしますので宜しくお願い申し上げます」とのこと、ほどなく担当の方が見えられて「これはささいでございますがお礼の印です」となんと10万円置いていったのです。事務所の連中は「よし、町田へ飲みに行こう!」となったのです。作業員には「スイカ」を10個買い3時の一服に出しました。「なしてこつたにスイカ買ったべ」「地主さんが伝票拾って10万もらったんだと」「やっぱり地主さんだば福の神だな」と、私も俺が買ったスイカだからいっぱい食わねば損だと、ものもいわねで食べた結果腹がはれて前ばかりか横もはれて「こえだば狸腹でなく大狸腹だな」

と大笑いされました。おだてられビール2ケースと酒3本とつまみを買って「夜皆で飲んでけれ」となりました。その夜はもちろん町田で有り金全部パーと飲んでしまいました。

ある夏の夜一般機械担当のO軍曹さん(軍隊生き残り)が「イカの良い物が入ったので刺身と塩辛を作ったから一杯やろう」と私と重機担当のYで宿舎の食堂で晩酌を始めました。ビール、日本酒、焼酎とメートルが上がり「へば、ぼちぼち寝るが」と部屋に入り30分程したら「主さん助けて」とYが脂汗をかいて倒れこんで来たのです。

「腹が痛くて死にそうだ」と意識もうろうとした状態でした。直に救急車を呼び病院に担ぎこんだのです。どうもイカの塩辛にあたったようだと言われ3日程入院したのです。お医者さんが「一緒に食べたあなた達は大丈夫ですか」と聞かれ「まったく問題ありません」、「不思議ですねどうゆうことでしょうか」と言いますので、O軍曹は「私は南洋戦線で食べる物が無くヘビ、トカゲ、ネズミ、カエル他何でも食べましたので免疫ができたのかも知れません」と答え、私は「秋田の貧乏百姓で育ったものですから口に入る物は何でも食べましたので免疫ができたと思います」と答えました。先生も看護婦もあきれ顔で二人を見ていました。現場ではあの二人は化け物だと半分羨望、半分馬鹿にした眼差しでしばらく話題になりました。

昭和56年住宅都市整備公団の岸地造成工事に着任しました。横田基地に隣接する畑地を宅地造成するものです。事務所用地を借地するためTさん宅へお願いに参りました。私の姪の旦那も秋田で地主さんの訛りで直ぐ秋田だと分かりましたとのこと。私は標準語で話したつもりですが、やっぱり訛っていらだべな、とがっかりしたものでした。Tさん宅には娘が一人いて土日には母親の畑仕事を手伝いに来ていました。事務所にはY君とゆう適齢期の男がいたので「あの子良い娘だろ付き合って見るか」と私。

まんざらでもなさそうなのでお母さんに「うちにええ男がいるべ、娘さんと付き合せてもらえねべが」と話が進み、車を買わせ車庫証明をTさんの住所で取らせ、熊本出身の無口な男と大和撫子のよ

うにおとなしい娘を結婚させるべく、余計なお世話をし、母親から大変感謝され、仲人は私達夫婦がさせていただきました。その後2男1女に恵まれ跡取りとして婿になり、会社では部長として活躍しています。

昭和59年日野市南平高校用地造成工事、昭和61年日野市落川排水管路工事を竣工し、昭和62年に瑞穂町御伊勢山運動公園造成工事に着任しました。私の上司は「地主、転職したくなかったら自分で自分の仕事を取ってこい!」と言っていました。そのため私は得意先のお役人に可愛がってもらおうと仕事は誠心誠意を尽くし、気働き、目配り、心配りと「明るく楽しく元気よく」をモットーに人脈を構築し様々な情報を頂き、それを支店、本店の営業に流し自分の食い扶持を確保し、お陰様で一回の転職も無く会社を卒業出来ました。この御伊勢山もそうした物件でした。

秋田の小学校からの悪友が深刻な声で「いや!まいった、俺の息子が俺と喧嘩して女と一緒におまえのところに行ったようだ!何とか面倒みてやってねべが」。「なにしたと、どてしたな、へば土方でもやるてが!」。「なも、そのおなごと一緒にいるてゆうがら駄目だと喧嘩になったのよ」、「たぶん、おめどさ行ったと思うがら、よろしく頼むな」。東京の西の外れ瑞穂町へ20歳の若者がバック2つ下げて来ました。「地主さん親父と喧嘩して出てきました、なんでもするからここに置いてください」。連れの娘も宜しくお願いますと頭を下げました。作業員宿舎を仕切り2人の部屋を作り、家から布団、テレビ日用品を持ってきて2ヶ月間、土方と事務所・宿舎の掃除と飯炊きの手伝いさせ就職口を探しました。事務所の事務の人の旦那が水道工事に勤めていたもので頼み込んで職を見つけました。アパートを借りてやり新しい生活が始まりました。今では2人の女の子に恵まれ、5年前に独立し水道工事を経営し立派な男となりました。喧嘩した親父も年に1度は上京し、せがれと立川で飲んで、性格は変わらないもので、えぶりこいで、はらつえごと言った息子にやっぱり馬鹿親父だと言われながら、夏は高清水、冬はキリタンポのセットを毎年送ってくれる親友です。

私もこの4月で満70歳になります。今年の3月で国土館大学の非常勤講師をやめ、来年の3月で仕事もやめ、5~6年程遊んで77歳位でピンピンコロリとあの世へ旅だちたい思っていますが、果たしてそのようになるか神のみぞ知ることです。とりあえず東京秋工会のゴルフ同好会、詩吟・尺八同好会、釣り同好会、ハイキング同好会とまだ未加入の写真同好会で趣味を磨き、地元自治会、老人会にも貢献し、愛しい妻と国内旅行を楽しみ、秋田の同級生と親しみ、秋田訛りに誇りを持って生きていこうと思えます。

「金砂」をご覧の皆様、一度総会に出て見てください。あなたの知らない楽しい事がいっぱいです。

来たれ!金砂健児!待ってるど...来てけれ...待ってるど...

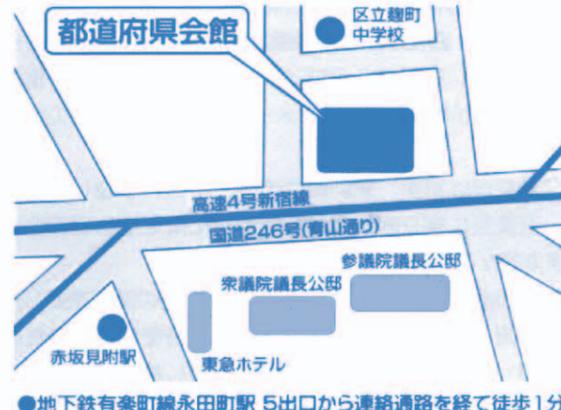


秋田への就職・定住応援します!

Aターンプラザ秋田

「Aターンプラザ秋田」では、秋田県内の求人・住宅等各種情報の提供や、Aターン就職に関する相談を行なっております。どうぞご利用ください。

開庁時間/平日9時~17時45分
休日/土・日・祝日・年末年始
フリーダイヤル/0120-122-255
所在地/東京都千代田区平河町2-6-3
都道府県会館7階
秋田県東京事務所内



●Aターンに係る各種イベント等の情報は、(公財)秋田県ふるさと定住機構のホームページをご覧ください。

<http://www.furusato-teiju.jp/>

The technical group which wrestles with the reproduction of natural environments
Limited Liability Partnership Land Owner Office
project management group office
2-23-8 Tsurumaki, Tama-City Tokyo 206-0034, Japan
japan TEL:+8142-371-3630



自然環境再生にとりくむ技術集団(プロジェクト マネジメント グループ)
有限責任事業組合 ランドオーナーオフィス
〒206-0034 東京都多摩市鶴牧2-23-8
TEL 042-371-3630 FAX 042-371-3687
理事長 地主 勝己
(昭和37年 土木科卒)